

町の生活情報紙  
— IIDE PUBLIC RELATIONS —

# 広報いいいで

5

13, May  
2010  
Vol.998



特集

## 蛇口の向こう側

私たちの水道水を知る

- 03 特集◎蛇口の向こう側～私たちの水道水を知る～  
第1章 おいしい水が届くまで／第2章 水道の歴史と今…  
第3章 水道水の今後を考える
- 10 平成22年度地区公民館の事業計画  
中部地区公民館／白樺地区公民館／東部地区公民館／西部  
地区公民館／中津川地区公民館
- 12 まちかどNEWS  
添川小「緑の少年団」入団式／飯豊町消防団辞令交付式／  
しらさぎ荘お客様300万人目達成ほか
- 14 直伝おふくろの味
- 15 子育てファイル／あ～す図書室情報
- 16 川口市の野口龍太さん中津川中へ長期山村留学／五十嵐  
国太郎さん米沢牛枝肉市場共励会最優秀賞受賞
- 17 ようこそ私たちの倶楽部に／町長の見て歩き
- 18 手ノ子幼稚園・つばき保育園「園歌」募集／ふるさとC  
M大賞作品アイデア募集
- 19 STOP高齢者虐待 早期発見・早期対応
- 20 お知らせ／戸籍の窓／人の動き／編集後記
- 22 フォトグラビア・いいでに咲く桜
- 24 未来につなぐ～いいでの美しさをいつまでも～

## 町のホームページから

# さらに情報を！

町からのお知らせ情報は、  
飯豊町ホームページ [www.town.iide.yamagata.jp](http://www.town.iide.yamagata.jp)  
でも紹介しています。

知りたい情報は、「検索キーワード」を、ホームページの  
検索ボックスに打ち込んでください。当該ページへ簡単  
に移動することができます。

こちらのボックスに  
「検索キーワード」を  
打ち込んでください。



the most beautiful  
villages  
in japan

「日本で最も美しい村」連合

飯豊町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。  
これからも美しい景観と里山文化に磨きをかけていきます。

## 表紙

## 今月の親子

白川在住

- 鈴木秀樹さん(38歳)
- 江利子さん(40歳)
- 翔子さん(12歳)
- 朋幸くん(11歳)
- 梨沙ちゃん(2歳)



前列左から時計回りに、朋幸  
くん、秀樹さん、江利子さん、  
梨沙ちゃん、翔子さん

4月下旬、中津川小中  
学校授業参観の日。秀樹さん  
と江利子さんはそろって子  
どもたちの授業を見守りま  
した。「先生方は、子ども  
一人ひとりと向き合って勉  
強を教えてくださいます。  
それがこの学校の魅力で  
す」。そう話す2人の言葉  
には、学校への信頼と感謝  
の気持ちが伝わってきます。



our water story

# 蛇口の向こう側

私 たち の 水 道 水 を 知 る

来月6月1日から7日までは「全国水道週間」です。  
今年のスローガンは「水道に 寄せる信頼 飲む安心」。  
健康と生活に直結する水道水が将来にわたり「信頼」され、  
「安心」なものであり続けるために何が求められるのか。  
現状と課題についてレポートします。

## 水道水の原点「水源」



六郎沢水源



萩生配水池



高造路水源



中津川配水池



大平第1水源  
大平第2水源  
前野水源

三宝荒神水源

中央配水池

置賜白川水源

小屋水源  
小屋配水池

大清水水源



小白川浄水場

## 【上水道】

## ◎水源

山の湧水+置賜白川表流水

## ◎給水区域

中部地区・白樺地区・東部地区・西部地区

## 【中津川簡易水道】

## ◎水源

山の湧水+地下水

## ◎給水区域

中津川地区  
(小屋・広河原地区を除く)

## 【小屋簡易水道】

## ◎水源

山の湧水

## ◎給水区域

小屋地区

## 「山の湧水」と「河川の表流水」



集水槽に流れ込む三宝荒神水源の湧水



ポンプでくみ上げられる置賜白川の表流水

コストと水量を見極めて  
2つの水源を使い分ける

上水道の水源は萩生の山からの湧水と置賜白川の表流水です。

湧水は水質が比較的きれいなため塩素消毒のみで浄化でき、経費がかかりません。しかし、夏場の濁水による水量の変動が生じます。

河川からの表流水は、砂などの不純物を除去するため、湧水に比べ薬剤やろ過に要する経費が多くかかります。

町では、水量や経費などを見極めながら、双方の水源を効率よく経済的に使い分けて配水しています。

また中津川地区の簡易水道の水源は、山間部からの湧水と地下水を利用し、塩素滅菌のみで浄化しています。

## 第1章

## おいしい水が届くまで

私たちの水道の水はもともとどこからきた水なのか？そしてその水が安全な飲み水になるまでの過程は？健康と生活に直結する水だからこそ知っておきたいことです。

## 上水道と簡易水道

町の水道は、「上水道」「中津川簡易水道」「小屋簡易水道」の3つの給水区域に分かれています。上の図にあるように、上水道はおよそ中部地区から高峰地区まで、簡易水道は中津川地区を対象としています。上水道と簡易水道の違いは、給水人口によるもので、浄化方法や給水の仕組みはまったく同じです。

## 安全な水をつくる仕組み

上水道区域の水源は、萩生地区の山間部の湧水と置賜白川の表流水です。

山の恵とも言える湧水は、水源地から管を通して萩生配水池に集められます。湧水は比較的不純物が少ないため塩素による滅菌消毒のみの浄化で飲用水となり萩生配水池より配水されています。中津川・小屋地区の簡易水道についても湧水が水源ですので、浄化方法は同様です。

年間を通じ安定した水量が得られる置賜白川。砂などが比較的少ない表面の流水をポンプでくみ上げ、小白川浄水場へと送られます。浄水場内にはいくつかの池があり、そこへ順次に水をくぐらせます。その過程でこみや砂などの不純物を沈殿させ

## 町の水道技術管理者



役場地域整備課上下水道室

伊藤 貴広 技師

Ito Takahiro

「町民の皆さんの健康と生活を守る重要な任務と認識し、日々、安全で安心な水を供給できるよう務めています」と語るのは、町の水道技術管理者の伊藤貴広技師。

水道技術管理者とは、水道事業で必ず設置しなければならないと、水道法で定められている技術面での責任者です。水道における一定以上の知識と実務経験を必要とし、任命権は水道設置者（町長）にあります。

## 水道水のコストと水道料金

現在の水道料金は13mm口径で、10㎡まで2,100円、超過料金は1㎡あたり210円です。これは平成13年に料金を改定し、値下げしたときから変わっていません。

それに対し、平成20年度の上水道施設と簡易水道を合わせて算出した給水コストは、1㎡あたり198円でした。コストには施設の維持管理費や職員の人件費などが含まれています。

コストと水道料金の差額分は、将来の水道施設建設改良のための積み立てなどに当てています。

また、水道料金は、町内各地区から選ばれた委員の皆さんによる「飯豊町上下水道運営審議会」の場で、毎年、料金が適正なものであるか審議されています。



## 水を浄化する薬品の安全基準

水道水の水質基準は、法律（水道法）によって定められています。たとえば塩素は滅菌消毒に用いられますが、水道水に含まれる量はごくわずかで、健康上の影響はありません。WHO（世界保健機構）のガイドライン値（生涯にわたりその物質を含んだ水を飲んでも健康に影響が生じない濃度）では5mg/lとされ、水道法では、配水場より一番遠い地点で0.1mg/l以上保持されることとされています。



小白川浄水場内の薬品タンク

常に水を送り続けるために

このように配水池や浄水場は、水道水を供給するライフラインの基幹施設といえます。施設の機能がストップした場合、断水などの非常事態となります。そのため、配水池や浄水場とを結び監視システムを導入しており、施設内で故障などが発生した場合、即座に対応できる体制を整えています。水質だけではなく、安心かつ安定した供給も水道にとって大切なことだからです。

## 水道水の普及状況

次に、町の水道の普及状況を見てみます。平成20年度末の人口84,577人に対し、給水人口は8,200人。普及率は97.0%でした。供給した水道水の量は、83万7,742立方メートルのほりまです。しかし、近年の人口減少を受け、その量は年々減っている傾向があります。

また、町内には飲用水として井戸水を利用している方が多くいらつしゃいます。井戸水は常に一定の水質とは限らず、周囲の環境変化に影響を受けたり、管理がよくなると汚染される恐れがあります。井戸水の利用には衛生管理の徹底と定期的な水質検査が重要です。もしそれが困難な場合は、安全な水道水に切り替えて飲用することを町では推奨しています。



## 水道事業の沿革

飯豊町の水道は、昭和33年の沖簡易水道創設から始まり、以降、萩生、添川、椿・小白川、手ノ子と次々に簡易水道が創設され、42年にこれら簡易水道を統合して現在の上水道となりました。また、中津川簡易水道は39年、小屋簡易水道は46年に創設され、現在に至っています。近年からは、古くなった水道管や機械などの交換を毎年実施しています。



沖部落にある水道発祥を記念する石碑

昭和33年	中地区の沖部落に町で初めての水道となる沖簡易水道完成
34年	萩生簡易水道完成
35年	添川簡易水道完成
37年	萩生簡易水道の給水区域を中・黒沢地区へ拡張 中央（椿・小白川）簡易水道完成
39年	手ノ子簡易水道完成 中津川簡易水道完成
42年	羽越水害により水道施設に甚大な被害を受ける 災害復旧工事を進めると共に、萩生・中央・添川・手ノ子の4つの簡易水道を統合した上水道を新設
46年	小屋簡易水道完成
50年	大平第1、大平第2水源（いずれも萩生）の新設
56年	小白川浄水場完成 大清水水源（中津川）の新設。中津川配水池の増設
61年	萩生配水池の増設
63年	六郎沢水源の新設
平成10年	高造路水源（中津川）の新設 中津川配水池の増設

私たち飯豊町水道業務共同企業体は、町からの委託を受け、役場が閉庁している夜間や休日中の水道施設の監視や維持管理などを行っています。夜中でも施設に異常が発生すると警報の連絡が入り、現場に駆けつけ復旧に当たります。対象は、町内すべての水道施設です。

トラブルで多いのは、施設内での電気系統の故障です。ヘビが施設に入って停電したこともあります。特に豪雨、暴風などの悪天候時は、警報通知が頻繁にあり、そのような日は特に注意して監視に当たっています。

私たちの任務は、365日、24時間、「水を止めないこと」「安全な水を供給すること」に尽きます。

近年は、町内全域で水道管の入れ替えを実施し、地中での漏水は激減しました。しかし、浄水場、配水池、水管橋（橋の下にある水道管）などで老朽の兆しが見られます。将来の水道の在り方を見据えながら、施設の更新を考えていかなければならないと感じます。

さらに現在、萩生配水池と小白川浄水場から手ノ子、高峰地区に送られてくる水は、地形の関係上、向原増圧ポンプ場を経由して各家庭に届いています。

つまり手ノ子・高峰地区への給水は電気の方に頼っている実情があります。電気がないと水を送れないというのは不安が残ります。近い将来、新たな水源を模索するとき、白川上流に位置する手ノ子・高峰地区の立地と水本来の性質を生かし、新たな水源地の確保や、ほかのエネルギーに頼らない供給手段になることが望ましいと思います。

私たちの会社では、お客様から漏水の相談を受けることもあります。給水口からのわずかな水滴のような漏れも一日でお風呂いっぱいになることもあり、漏水はささいだと思っても、町の指定する「給水装置工事業者」に相談することをお勧めします。

また、水道の止栓や水道メーターは地中にあるため放置しがちですが、入り込んだ土などを

定期的に取り除いて清掃してあげてください。万が一のときに「水を止める」ことは大切です。水道メーターは、時々自分の目でチェックしておくことで漏水の早期発見にもつながります。

## 水の性質を生かし、自然の力で供給するのが望ましい

飯豊町水道業務共同企業体

### 井上 藤吉さん

いとうえ・とうきち●1954年5月、高峰生まれ。(株)高橋工務店社員。水道現場歴30年以上のベテラン。会社は飯豊町水道業務共同企業体に所属し、町からの委託を受け水道施設の維持管理に当たる。建設現場では管工事や機械設備工事などもこなす。高峰在住



## 第2章

## Chapter 2

## 水道の歴史と今…

町の水道は昭和30年代から急速に町内全域へと普及してきました。水道事業発展の歴史を知る菊地幸男さんと、現在水道の現場で活躍する井上藤吉さんに話を伺い、二人の意見から水道の歴史と今、そして将来のあり方を考えます。

## 水道を知る2人のインタビューから

## Interview

Kikuchi Yukio / Inoue Tokichi

将来へのヒントを探る

昭和三十二年に中地区沖の故渡部与五平氏は、水道の重要性を住民に説き、町の協力を得て、沖部落に町内初の水道施設の完成を実現させました。戦時中に

東京から疎開した渡部氏は、人々が文化的に暮らす上で、水道がいかに大事なものであったのかを知っていました。また山形県も農村の衛生環境を改善するには、水道は不可欠であると、その普及を働きかけていました。飯豊町は水が豊かだと思われがちですが、実は飲用水については中地区や萩生の中ノ目地区などでは確保にとっても苦労した土地柄なのです。

沖簡易水道の完成を皮切りに、急速に町内全域に水道は広がっていきました。住民の要望はもとより、当時の金子春次町長をはじめとする為政者たちの強いリーダーシップで水道事業を推し進めました。昭和三十四年の萩生簡易水道の工事着工から昭和四十年の中津川地区簡易水道完成まで、わずか六年間でほぼ全域に水道施設を作り上げ、80割以上の世帯に普及させました。まさに水道事業に力を入れた町政だったと言えます。

考えてみれば、土木機械のない時代ですから、すべて人の手で掘り起こし、水道管は埋設さ

れました。私も当時、担当者として現場に携わっていましたが、あらためてその事業拡張のスピードは驚異的だったと思いがされます。

上水道の水は、今でも萩生地区にある山の湧水に依存しています。簡易水道の時代から変わりはせん。ここで先人たちの先見性を称えるべきは、町の地形を最大限に利用したということ。山から平野部へとという高低差による自然流下方式を採用し、電気などの動力に頼ることなく各家庭に水を届けることを選びました。エコロジーを重視する現在に通じています。

さらに昭和四十二年には、羽越水害で町の水道施設も大きな被害を受けました。関係者は不眠不休で復旧にあたりました。その中で、上水道を整備し、水道体制を新しく建て直して今に

至っています。

このような歴史をたどってきた水道ですが、「水は少量であれば金より高く、多量であれば人命と財産を奪うもの」。その言葉を現代においても胸に刻んでおきたいものです。

## 自然流下方式を選択した先人の先見性は今に残る

元飯豊町水道課長

## 菊地 幸男 さん

きくち・ゆきお●1934年2月、中生まれ。60年、町職員となり役場土木課に配属。当時より水道担当として簡易水道の普及に活躍。90年4月水道課長に就任。94年退職。07年3月発行の『いいで史話会文集（第35号）』に町の水道事業の歴史を執筆。萩生在住

# 水道水の今後を考える

安全でおいしい水道水は、町の誇りでもあります。将来にわたってこの水を守り続けていくためには、どんなことが必要なのでしょう。その課題を整理します。



## 誇れる「水道水」だから、将来へ寄せる思い

## Interview



飯豊中野球部

梅津昌樹さん  
高橋亮さん

Umetsu Masaki  
(3年・萩生・写真右)  
Takahashi Ryo  
(3年・黒沢・写真左)

部活で練習した後に飲む水は最高です。ほかの町や都会で水を飲むと、そのおいしさにあらためて気づかされます。元気の源である水は、ぼくたちにとって命そのものだと思います。環境問題がある中で、将来、ぼくたちが大人になっても飯豊町の水道水は、今のようにおいしい水であってほしいです。



農家レストランエルベ

舟山てるよさん

Funayama Teruyo  
(調理師・小白川)

当店では、水道水をお客様へ飲用水としてお出ししています。水は純粋そのもので、お客様から「これは本当に水道水なの？」と聞かれることもあります。「水道水です」と胸を張って答えられることは素晴らしいことだと思います。また、和洋中問わずどんな料理でも水は欠かせません。おいしい水も大切な材料の一つなのではないでしょうか。



消防署飯豊分署

小杉享さん

Kosugi Akira  
(消防副士長・長井市)

消防士にとって水は、住民の生命と財産を守るために不可欠なものです。特に消火栓は水道水が使われています。周りに河川や防火水槽がない場所では、重要な役割を果たします。その大切さを実感し、訓練で消火栓を使うときは、一滴も無駄にしないように心がけています。住民の安全・安心に欠かせない水をこれからも大切にしていきます。

### 水道の将来像を描いていく

消費者の立場から見ると、水道水の原則は、「安全な水をついで飲める(使える)」ことではないでしょうか。その原則に応えるためには、今いくつかの障壁を乗り越えていかなければなりません。

一つ目は「安心」のための課題です。近年は、地中にある水道管の更新を進め、ほぼ整備が完了したところで。さらに耐用年数の短い機械電気設備を中心に計画的に更新事業を行っています。しかし、現在稼働している浄水場や配水池などの基幹施設の多くは、老朽化が進んでいます。ライフラインとして、大規模な地震の発生などに耐えられるよう、今後、耐震診断などをを行いながら、具体的な対策を講じていきます。

二つ目は「安全」のための課題です。近年、塩素で死滅しない病原性原虫が国内で発生しています。幸い本町では確認されていませんが、これに対応できる新たな浄水方法を現在調査しています。また、水源や配水池などに対して汚染物質を流すなどの悪質な行為を防ぐための対策にも取り組んでいきます。三つ目は、「安定」のための課

## おいしさを数値で実証

右表は、厚生労働省が設置した『おいしい水研究会』が、おいしい水の要件を数値化したものです。小白川浄水場で浄水した水は要件におおむね合致しています。まさしく町の水道水がおいしいことが証明されたわけです。

なお、この水質データは、置賜白川の水質が最も悪化すると予想される7～8月（平成21年実施）の水道水をあえて使用して、検査したものです。



水質項目	おいしい水の要件	小白川浄水場の水	分析の説明
蒸発残留物	30～200mg/ℓ	56mg/ℓ	主にミネラルの含有量を示し、量が多いと苦味渋味などがあり、適度に含まれるとコクのあるまろやかな味がする。
カルシウム マグネシウム (硬度)	10～100mg/ℓ	16mg/ℓ	ミネラルの中で量的に多いカルシウムとマグネシウムの含有量を示し、硬度が低いとクセがないが、高いと好き嫌いがでる。カルシウムに比べてマグネシウムの多い水は苦味を増す。
遊離炭酸	3～30mg/ℓ	1.6mg/ℓ	水の中に含まれる炭酸ガスで、さわやかな味を与えるが、多く含まれると刺激が強くなる。
有機物など (過マンガン酸カリウム消費量)	3mg/ℓ以下	1.5mg/ℓ	有機物量を示し、多いと渋味をつけて消毒用塩素の消費量も多くなるため、水の味を損なう。
臭気強度(TON)	3以下	2	水源の状況などにより、様々な臭いがあると不快感がある。
残留塩素	0.4mg/ℓ程度以下	0.2mg/ℓ	残留する消毒用塩素は、わずかに含まれている場合は気にならないが、濃度が高いと水にカルキ臭を与え、水の味を損なう。

## 水道水を守るための3つの課題

安心

施設の老朽対策と耐震への転換

安全

水道水の汚染対策と危機管理対策

安定

水源の安定化対策

## 水道に関する問合せ先

水源の情報やそのほか水道に関することは、どうぞこちらまでお問い合わせください。

役場地域整備課上下水道室  
☎72-2111内線150～154

## 自然環境の変化が大きく影響する…



自然環境の変化が水道水にも大きく影響を与えています。

1つ目は地球温暖化。豪雪地帯の本町ですが、近年は降雪量が少なくなってきました。雪解け水は山に蓄えられ、水源となります。雪は山の湧水に頼る本町にとって

大切なものなのです。

2つ目は山の荒廃です。間伐などの適切な森林管理は、表土の特性である雨水の地下浸透量を高め、水を地中に蓄える水源涵養機能を果たします。しかし、人が山に入ることが少なくなり、その機能が衰えていることが心配されています。

題です。水源も限りある資源です。できるだけ山の湧水のようなコストのかからない安定した水源を基本とし、その追及を続けていかなければなりません。現在、町ではこれら3つの課題をクリアするために、将来の給水人口、料金体系、維持管理の在り方などを一つ一つ分析して、課題を整理しています。さらにそこから、町に合った理想的な水道の将来像となる「飯豊町水道ビジョン（水道施設整備計画）」の策定を進めていきます。施設の更新には相当の費用を要します。水道事業の健全な経営と安全な水道水の供給を両立させるためには、今後も町民の皆さんの理解と協力が不可欠です。一緒に水道の将来を考えていきましょう。



# 平成22年度 地区公民館の事業計画

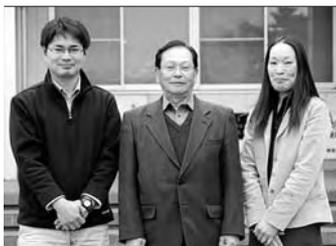
## 地域の活性化と生涯学習の振興を目指して

各地区公民館では、それぞれの地域の特色を生かしながら、地域の活性化と生涯学習の振興を目指した事業を展開しています。

ここでは、平成22年度の事業計画の中から主なものを抜粋して紹介していますが、そのほかにも幅広い年齢層に合わせた様々な事業が計画されていますので、ぜひ多くの住民の皆さんが参加し、地区公民館を中核として地域を盛り上げていきましょう。

### 中部地区公民館

地域のコミュニティづくりの拠点ととらえ、地域住民主体の運営活動を支援し、創造的にぎわいのある地域づくりとまちづくりを目指します。



船山吉丸 井上克夫 新野由希子

#### スタッフ

**公民館長**  
井上克夫（萩生）  
**運営委員会事務局職員**  
船山吉丸（萩生）  
新野由希子（中）

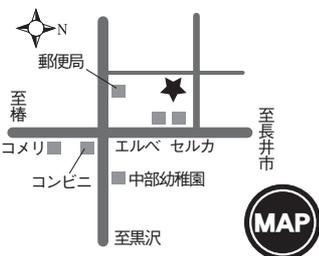
#### 連絡先

大字萩生3548  
TEL72-2126  
FAX72-3550  
✉tyubuko@e.jan.ne.jp

#### 主な事業計画

事業名	事業内容	時期
社会教育推進事業	社会教育団体、学校、子ども会育成会、保育施設との連携を密にし、公民館を基盤とする活動団体を支援	年間
かかし祭り	誇れるふるさと、豊かな触れ合いを目指し、子ども会育成会と分館、地域の団体と協力し開催	8月～9月
夏休みお楽しみ会	夏休みを利用し、地域の先生に地場産の食材を利用して料理を習う	7月～8月
しろあと教室	高齢者の社会参加を進め、文集発刊などを通じた学習活動を推進	年間

上記のほか、年間を通して年齢層に合わせた様々な事業が計画されています。詳細は公民館にお問い合わせください



### 白樺地区公民館

自主的な学習の推進と生涯学習活動の拠点としての役割の充実を目指します。



川崎てい子 佐原正 鈴木孝

#### スタッフ

**公民館長**  
佐原正（椿）  
**運営委員会事務局職員**  
鈴木孝（小白川）  
川崎てい子（椿）

#### 連絡先

大字椿1902-4  
TEL72-2242  
FAX72-3551  
✉tubakiko@e.jan.ne.jp

#### 主な事業計画

事業名	事業内容	時期
白樺地区新生活運動	ムリ・ムダ・ムラのない地域社会を目指し、明るく美しいまちづくりを分館を拠点に実施	年間
高校生ボランティアの育成	地域の事業への積極的な参加を促進し、地域住民との交流で健全な高校生ボランティアの育成を目指す	年間
白樺リサイクル会	廃油利用リサイクルせっけん、EM活性液を利用した生ごみ堆肥化など循環型社会の形成に取り組む	年間
いきいき教室	家庭や地域の触れ合いの中で、健康で生きがいのある活動ができるように推進する	年間

上記のほか、年間を通して年齢層に合わせた様々な事業が計画されています。詳細は公民館にお問い合わせください

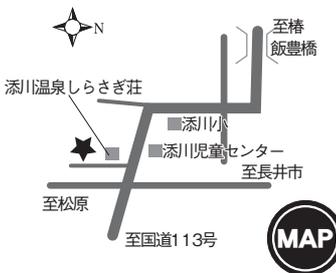


# 東部地区公民館

社会教育活動の拠点として、地域住民の理解と協力を高めながら、一人ひとりの意識高揚を促し、生涯学習活動の推進を目指します。



手塚利雄 齋藤徹 遠藤節子



## スタッフ

**公民館長**  
齋藤徹（松原）  
**運営委員会事務局職員**  
手塚利雄（添川）  
遠藤節子（添川）

## 連絡先

大字添川2955  
☎74-2447  
☎87-0447  
✉toubuko@e.jan.ne.jp

## 主な事業計画

事業名	事業内容	時期
広報活動	地域住民に地域の状況や動きを知ってもらうため、関係団体と協力し「広報とうぶ」を毎月発行	年間
添川温泉ふるさと祭り	東部地区全住民の参加のもと、世代間の交流・親睦・融和を図り地域の活性化を目指す	8月14日
少年キャンプ	団体生活と野外キャンプの体験により児童の健全な育成を目指す	7月24日～25日
チョウセン・アカシジミ観察会	小学生を対象に、地区内外へ観察に出かけ、保護蝶の認識を高める	年間

上記のほか、年間を通して年齢層に合わせた様々な事業が計画されています。詳細は公民館にお問い合わせください

# 西部地区公民館

地区民主導の運営を積極的に推進しながら地域の独自性を大切にしたい社会教育・生涯学習の充実、体育・スポーツ・芸術文化の振興を図ります。



高橋孝 山口健 巻坂恵美子



## スタッフ

**公民館長**  
山口健（高峰）  
**運営委員会事務局職員**  
高橋孝（高峰）  
巻坂恵美子（手ノ子）

## 連絡先

大字手ノ子2861-1  
☎75-2111  
☎75-2273  
✉seibuko@e.jan.ne.jp

## 主な事業計画

事業名	事業内容	時期
広報活動	公民館活動について地域住民に広く周知し、理解と協力を得るため、随時「館報せせらぎ」や「お知らせ版」を発行	随時
生活文・読書感想文コンクール	本に対する親しみと読解力、表現力を養い、心豊かな児童を育成	10月
婦人教室 さわやかクラブ	学習を通じて広く教養を高めると共に、健康で明るい家庭の推進、楽しい仲間づくりを目指す	年間
ふるさと学園	高齢者の地域社会への積極的な参加と生涯学習へ取り組む。また、子どもたちとの交流を通じて、地域文化の伝承に努める	年間

上記のほか、年間を通して年齢層に合わせた様々な事業が計画されています。詳細は公民館にお問い合わせください

# 中津川地区公民館

生涯にわたる学習機会の提供と、地区民が主体的に取り組める環境の整備、青年・女性の地域社会参加の重要性を認識するための学習機会の提供に努めます。



伊藤清一 伊藤浩一郎 伊藤ふみ



## スタッフ

**公民館長**  
伊藤浩一郎（小屋）  
**運営委員会事務局職員**  
伊藤清一（白川）  
伊藤ふみ（岩倉）

## 連絡先

大字上原469  
☎77-2020  
☎77-2121  
✉apurekou@e.jan.ne.jp

## 主な事業計画

事業名	事業内容	時期
情報の提供事業	地域の話題、情報を発信するとともに公民館活動を広く周知するため「館報あぶれ」を毎月発行	随時
地域に根ざす青年団体の育成	積極的に地域に参加できる環境づくりを図る。青年たちの討論の場を設置	年間
地区・小中学校合同運動会	小中学校と地域が一同に会して開催することで、学校教育と地域のさらなる連携を深める	9月6日
中津川写真展	地区内の写真愛好家の協力により公民館を会場として開催し、中津川地区の魅力を再発見する	未定

上記のほか、年間を通して年齢層に合わせた様々な事業が計画されています。詳細は公民館にお問い合わせください

まちかどニュースは、皆さんの広場です。  
地域のできごとやご意見などお気軽にお寄せください。  
役場総務企画課総務情報室まで ☎72-2111内線224



### 添川小「緑の少年団」入団式

## 自然と命の大切さを学びます

4月16日、添川小で「緑の少年団」入団式が行われました。自然保護活動を通して、自然と命の大切さを学ぶことを目的に、当校が長年取り組んでいる活動です。今年度は3、4年生13名が新たに入団し、上級生の団員からトレードマークのベレー帽をかぶせてもらいました。新入団員は全員で声を合わせ、「自然の木や命を大切に、水や緑を守る活動をします」と宣誓。今後、桜の木の観察やキノコの植菌、学校林の手入れ作業などに取り組んでいく予定です。

### 石山壬一さん「鳥獣保護員」県知事感謝状

## 野生動物の保護に尽力



4月26日、長年にわたり山形県鳥獣保護員を務められた石山壬一さん（じんいち 萩生）に、県知事より感謝状が贈られました。後藤町長立会いのもと、県知事代理の置賜総合支庁環境課長赤部誠一氏より授与されました。石山さんは、在職期間中、鳥獣保護区の管理や狩猟者への安全指導などに尽力。「狩猟はルールをしっかりと守って自然を守る気持ちが大切だと思います」と受賞の感想を話してくださいました。

### 飯豊町消防団辞令交付式

## 一人ひとりの協力を大切に



4月4日、町民総合センター「あ〜す」で町消防団辞令交付式が行われました。式には団員や関係者など約100名が出席。岡田美樹雄団長が、退団された皆さんや幹部団員、新入団員の方々に辞令を交付しました。式の中で後藤町長は、「団員同士の協力によって消防装備は機能を最大限に発揮できます。縦と横のつながりを大切にしてほしい」とあいさつ。今年度は15名が入団し、団員数は総勢405名となりました。



添川温泉来場者300万人達成

## 多くのお客様に愛されて

4月6日、添川温泉「しらさぎ荘」は、1990年のオープンから入浴利用者300万人を達成しました。300万人目の記念すべきお客様となられたのは、毎日のように利用しているという小田良幸さん(長井市)。代表取締役である後藤町長から小田さんに記念品と入浴回数券などが贈られました。同施設の加藤泰典支配人は、「6月6日には入浴料半額の『温泉まつり』もごぞいます。これからもお客様に喜ばれるサービスの充実を目指します」と話してくださいました。

安心生活創造事業「減災ハウス」展示

## 高齢者の転倒を防ぐために



町の高齢社会対策である「安心生活創造事業」の一環として、環境モデル住宅(椿・あ〜す前)を利用した減災ハウス展示が、4月17日から始まりました。町の委託を受けたNPO法人のスタッフが、家中で転倒を防ぐための設備や工夫などを紹介。訪れたお客様は、手すりの太さによって効果が違うことや段差の解消方法などのアドバイスを受けていました。展示は毎月第3土曜日に、同会場で行われています。

添川地区水芭蕉群生地に木道を設置

## もっとそばで花を楽しんで



添川地区にある水芭蕉の群生地に、この春から木道が整備され、川辺の花をそばで見られるようになりました。木道を設置してくださったのは、地元の組織である眺山観光協会と添川財産区の皆さん。財産区で伐採した木を利用し、川を渡る約20mの木道を2箇所を設置されました。眺山観光協会の岩瀬慶一会長は、「ここの水芭蕉は大きな花が特徴。ぜひ近くで鑑賞してください」と話してくださいました。



水仙ロード手入れ作業  
(中津川地区)



スポーツ少年団入団式  
(飯豊中体育館)



飯豊ロードレース大会  
(飯豊中)

## 直伝おふくろの味

子どもから大人まで楽しめるデザート  
抹茶プリン

## 【材料】(約20センチ×13センチ×3センチ分)

◇牛乳	1 トリッ
◇砂糖	100 ムグラ
◇抹茶	大さじ3〜5杯
◇生クリーム	1 フカッ
◇ゼラチン	6袋(30ムグラ)
◇水	200 cc

## 【作り方】

- ① 鍋に牛乳 $\frac{1}{3}$ を入れ、砂糖、抹茶を入れて火にかける。この時、沸騰させないこと。
- ② 砂糖が溶けたら火を止め、残りの牛乳を入れ、さらに生クリームも加えてかき混ぜる。
- ③ ゼラチンを容器に入れて水でふやかし、電子レンジで1分20秒〜30秒加熱して完全に溶かす。
- ④ ②に③を入れてよくかき混ぜたら、好みの型に入れ、冷蔵庫で2〜3時間冷やして出来上がり。

手軽にできますので、お子様と一緒に作ってみてください



小白川地区  
食生活改善推進員  
舟山英子さん

小国町に住む妹から教えてもらったお茶うけです。孫やおばあちゃんに食べさせたら、とてもよろこんでくれました。牛乳が苦手な方には、とくにうってつけではないでしょうか。

料理のポイントは牛乳で砂糖を溶かすとき(作り方①)、沸騰させないことです。沸騰してしまうと気泡ができて、見た目も食感も落ちてしまいます。

抹茶の鮮やかな彩りが、お客様のお茶うけにぴったりです。特に夏場は冷やして食べると最適です。ただ、甘さの好みがあるので、砂糖の量は適宜に調整してください。

フルーツを加えたり、抹茶のほかにココアで作ることもできます。手軽に楽しくできるお菓子ですので、ご家庭でお子様と一緒に作ってみてはいかがでしょうか。ぜひお試しください。



### こどもみらい館の予定表 (5月・6月の日程)

会場/☆印は「あ～す」  
ほかは「こどもみらい館」

5月18日(火) 10:30～	あそびの広場
21日(金) 10:00～	タッチケア
27日(木) 10:30～	かんがるー広場
6月5日(土) 10:30～	ブックスタート広場
8日(火) 10:00～	夢きらら元気っ子広場☆ 「ポッキーマサショー」
10日(木) 10:30～	あそびの広場



### ポッキーマサショー

6月8日(火) 10:00～「あ～す」

風船アート、手品、バランス芸、皿回し…なんでもござれ。大道芸人のパフォーマンスをごらんあれ！ 無料。

episode

## 子育て応援 談

kosodate  
ouendan

### 世の中を知り大人になっていく 「育ての親は取り巻く環境」

元気であればそれでいい——。それを唯一の「教育方針」とする私たちの意をくんでか、子どもは自由奔放にすくすくと育っていった。親が手塩に掛けたのではなく、子どもを取り巻く人々と環境が育ててくれたのだと実感する。

平日は祖父母のもとで遊び、休日は近くの畑で仕事をしている近所の方のところへチョコチョコと“邪魔”をしに出かけていく。大きくなるにつれて地域が広がり、いろんな人たちとのかかわり合いの中で、世の中を知り大人になる。飯豊の人々、四季の自然、祭りごと…

でも子どももときには社会の中で傷つき、悩み、悲しみにくれることがある。そんなときに温かく包み込み一緒に話し合える家庭があること。私たちが子育てで大切にしたいことはそれだけである。

● 役場教育文化課子育て支援室

TEL 72-2111 内線 163・167

● こどもみらい館

TEL 72-3336



### 今月の おすすめ図書



児童図書

#### 「ちっちゃなトラック レッドくん」

みやにしたつや/作・絵  
ひさかたチャイルド

ちっちゃなトラックのレッドくんが、うさぎさんに荷物を届けるために出発！ うまく運べるかな？ ハラハラドキドキした後、心があたたくなる乗り物絵本。



児童図書

#### 「新13歳のハローワーク」

村上龍/著・はまのゆか/絵 幻冬舎

現代をサバイバルするための仕事の大百科。国語、社会、理科、体育など、好きな「教科」を入りに様々な職業を紹介する。2003年発刊「13歳のハローワーク」に89の職業を追加し、ページを大幅増量。



一般図書

#### 「鳥を探しに」

平出隆/著 双葉社

孤独な自然観察者にして翻訳者でもあった男の遺画稿と遺品の中から、大いなる誘いの声を聞き取りながら育った私は、いつからか多くの「祖父たち」と出会う探索の旅にあることに気づく。『小説推理』連載を書籍化。



一般図書

#### 「野球を学問する」

桑田真澄 平田竹男/著 新潮社

早稲田の大学院で学んだ桑田真澄が、渾身の研究成果を明らかに。後輩いじめ、体罰、長時間練習など、日本野球界の悪しき伝統の由来と現状を、担当教授との対話により徹底追究する。

● 開館時間 午前9時～午後5時

● 休館日 毎週月曜日・祝日

● 問合せ先 町民総合センターあ～す図書室 TEL 72-3111

中津川中学校

## 川口市の中学生が中津川へ長期山村留学



上・中津川小中学校、梅津校長から児童・生徒の前で紹介を受ける野口龍太さん  
右・生徒会長の高橋那菜さん(3年)と握手を交わし1年間のがんばりを誓った



## 埼玉県川口市

埼玉県の南端に位置する県内有数の都市。荒川を隔てて東京に隣接し、市の大部分が都心から10~20km 圏内にある。人口515,779人、世帯数231,097世帯。(平成22年4月1日現在)



「親元で甘えていた自分をもっと大人に成長できるように山村留学することに決めました」。

山村留学を決めた理由を尋ねたところ、そう力強く答えてくれたのは、埼玉県川口市出身の野口龍太さん、中学二年生です。

野口さんは、一年間川口市の親元を離れ、中津川地区の里親さんの元で生活しながら中津川中で勉強に励みます。中津川小中の現在の児童・生徒数は、野口さんを含めて八名。年々減少する子どもの数に、地域では学校の存在がとても危惧されています。学校存続という強い期待を込め、

## 地域・学校、待望の山村留學生「大人に成長できるように」と決意

地区では住民と学校が連携し、埼玉県などの首都圏から長期での山村留學生の受け入れを積極的に進めてきました。平成十六年からスタートしたこの事業で、これまで九人の都会っ子が、中津川小中と里親さんの元を巣立っています。

実は野口さんは、平成十八年に夏休みを利用した短期山村留学で同地区を訪れた経験の持ち主。そのときの体験が、結果的に長期の山村留學生として中津川で生活する契機となりました。

「もちろん山や川遊びも楽しみです」。目を輝かせる野口さんに心からエールを送ります。

米沢牛枝肉共励会

## 五十嵐国太郎さん生産の黒毛和牛が最優秀賞

四月一日、米沢市食肉市場で米沢牛枝肉共励会が行われ、小白川の五十嵐国太郎さんが生産した黒毛和牛(雌)が見事最優秀賞に輝きました。出荷した枝肉は、一キ当たり五千六百四十六円の高値で競り落とされました。

五十嵐さんは、肉用牛肥育を始めて約四十年目で、現在は約百頭を飼養しています。昨年六月の「いいで黒べこまつり」では、生産した肉が採用されたことも。「あの時、皆さんに食べていただいた喜びが、今回の初めての最優秀賞受賞につながりました」と話します。

現在の景気低迷で、米沢



「常に牛の状態に目をかけてやり、健康状態の異常に早く気づくことを心がけている」と語る五十嵐さん

ひたむきに牛の状態に目を配る  
肉質の良い牛を育てるための心がけ

牛ブランドでも、肉質が四等級以上の格付けにならないと、農家が採算割れになるケースが多くなっています。そんな状況の中、五十嵐さんは安定した出荷を目指し、牛の状態にこまめに目を配り、病気を未然に防いで、肉質の良い牛に育てることを心がけています。

『米沢牛』のブランドを守るためには、ブランド名にあぐらをかかず、安全・安心で良質な肉の生産を心がけるしかありません。生産者の仲間とのつながりを大切にしながら、今後ががんばっていきま

「と受賞の感想を語ってくださいました。」

# ようこそ！ わたしたちの倶楽部に

スポーツ、音楽、芸術、史話、ボランティアなど町内には活動団体がたくさんあります。このコーナーでは、そんな皆さんの活動を紹介していきます。



シリーズ第1弾：スポーツ少年団

## わかかさ野球スポーツ少年団

- ◆監督／木村勝彦さん（萩生）
- ◆コーチ／梅津和義さん（萩生）、国分充さん（萩生）、宇津本敦さん（中）
- ◆団員／27名

◆練習日／毎週火曜日（16：00～18：00）

毎週土・日曜日

◆練習場所／第一小グラウンド、町民スポーツセンター屋内グラウンドなど

◆団員募集対象／町内小学生・男女

◆クラブのピーアール

団員は、礼儀と感謝の気持ちを大切にして野球に励んでいます。練習の基本は、人の話をしっかり聞いて、自分なりの工夫を身につけること。それが選手として成長につながると監督とコーチは信じています。チーム一丸となって飯豊連峰杯の優勝を目標にがんばっています！



木村監督にとって野球とは…

周りに勇気を与え、常に感謝の気持ちを  
持つ続けるスポーツ

◀木村勝彦監督

●スポーツ少年団入団などのお問い合わせは、町教育委員会内スポーツ少年団事務局まで☎72-3086（町民スポーツセンター）

## 連載 随想

### 町長の思ふ歩き 13

後藤 幸平

#### 「五月の空の下で」

「缶詰を開けて食事をさせるようなことはしたくない」

そんなありがたい言葉にどう答えたのか、申し訳ないことに記憶はない。四十年近く昔の、私たち夫婦の姿である。還暦になって職場も変わると、互いの顔色を伺うような疑心暗鬼なことも少なくない。

諏訪橋のたもと、「農魂碑」近くのアカシア林の根元に、群生する薄紫の可憐な花を見つけた。「カタクリ」とも違う。凶鑑によれば「キクザキイチゲ」という野草らしい。新しい発見が嬉しくて一緒に見に行かないかと家族に話しても、どこか場違いな雰囲気。「お父さんの夢に家族全員協力しているのに今どきのん気すぎる」とがめられた。

大型連休の我が家は逆に何かと忙しく、ひとり缶詰を開けて晩酌をする。農家であれば田植完了まで気の抜けないときである。急に気温が上がって苗をやいたりしないか、街は繁盛しているか、受け入れに混乱はないか、晩酌も落ち着かない。

先日、食生活改善推進員の会合で、司会の鈴木栄子さんから「町長は健康のために日ごろ心がけている食事は何かありますか？」と質問を受けた。とっさの質問を立派にこなすのが町長の役割である。

「はい。食前酒は欠かしません。あとは納豆と野菜を少々」

缶詰を愛用していますとは言わずに済んだものの、さすがに会場からは失笑が漏れた。食の改善に取り組むお母さん方の研究会。メタボの自分が食の話をするには気が引ける。それでも度胸を決めて話をした。

板の間の台所に流し水を引き込み、囲炉裏で煮炊きした戦後の食生活から、レストラン並みの対面式オール電化の調理台に変わり、土のついた野菜の持ち込みができなくなった代わりに、世界中の食材を手に入れて食生活を楽しめるようになった現代の食を整理して、もう一度自給力向上と地場産品の再生を試みようとして、渡り式に何とか話を結んだ。

五月の空は心定まらぬ空である。

園児たちに夢と元気を。  
園歌の歌詞に  
未来への願いを込めて



手ノ子幼稚園



つばき保育園

## 手ノ子幼稚園・つばき保育園「園歌」募集

### 【要件】

- 自作で未発表作品に限ります。1人何点でも応募できます
- テーマは、明るく親しみやすい、園児に夢と元気を与えるもの
- 2番または3番までの構成とし、A4またはB4サイズの用紙に書いてください。漢字にはふりがなを付けてください

### 【応募方法】 郵送または持ち込み

【募集締切】 6月30日(水) 17:15まで (当日消印有効)

### 【審査・表彰】

- 作品の審査は、町が行い、結果は、広報・ホームページなどを通じて発表します
- 入選者には、賞状および記念品を贈呈します

### 【そのほか】

- 応募作品は返却しません。応募作品の著作権などの作品に関する一切の権利は、町に帰属します。また、作品を一部修正して使用する場合があります
- 詳細は町のホームページまたは下記までお問い合わせください

### 【応募・問合せ先】

役場教育文化課 子育て支援室 ☎72-2111内線163・167

E-mail: i-kosodate@town.iide.yamagata.jp

# あなたの感性がまちを元気にする

アイデアが映像になり、  
まちの“にぎわい”になる。  
採用には賞金5万円を贈呈。



2002年大賞受賞作品



嬉し出あわ。

2005年大賞受賞作品

## ふるさとCM大賞作品アイデア募集

【募集内容】 あなたのアイデアを次の〇〇に当てはめて提案ください。  
いずれも〇の中の文字数は問いません。

①〇〇〇〇で〇〇〇〇をする。

例：田んぼでミュージカルをする。(2002年大賞受賞作品のテーマ)

②〇〇〇〇が〇〇〇〇する。

例：ばっちゃんが宇宙へ発射する。(2005年大賞受賞作品のテーマ)

### 【応募方法】

- ファックスまたはE-mailでお申し込みください。また協会のホームページからも申し込みできます。1人何点でも応募できます
- アイデアの文章と共に、ご氏名、住所、電話番号を必ず記載してください

【募集締切】 7月30日(金)

### 【審査・賞金】

- 作品の審査は飯豊町観光協会が行い、結果は、協会のホームページなどを通じて発表します
- 採用された作品には賞金5万円を贈呈

【そのほか】 応募作品の著作権などの作品に関する一切の権利は、町に帰属します。採用されたアイデアをもとに「YTSふるさとCM大賞」出品作品を制作します

### 【申込・問合せ先】

飯豊町観光協会 ☎86-2411 ☎86-2422 E-mail: iide@iikanjini.com

制作をお手伝いして下さるボランティアスタッフも募集しています。

興味のある方はお気軽にお問い合わせください

# 早期発見・早期対応



**STOP**  
**高齢者虐待**

【連絡・相談先】

町地域包括支援センター（町健康福祉課内）☎86-2233

または地区の民生委員まで

## 全国的に介護の必要な高齢者が虐待されているケースが多い：

### 無意識に行われていることも

虐待だと気づかず、不適切な対応をしているケースが非常に多く、無意識に行っていることが虐待であるケースもあります。

無意識の虐待には、次のようなものがあります。

▽言うことを聞かず、無視したり、ののしったりしてしまう

▽良いことと悪いことをわかってもらうために、たたくなどしている

▽認知症で徘徊するので、部屋に閉じ込めている

▽年金証書や預金通帳などを管理し、本人に無断で使っている

### 「気づき」が深刻化を防ぐ

介護が必要な高齢者が虐待されているケースが多く、介護サービスを行ったときに介護スタッフが虐待に気づくことが多いです。

虐待に気づき、それ以上の深刻化を防ぐためには、介護スタッフだけでなく、高齢者の身近にいる人たちに気づいてもらうことが早期発見・早期対応につながります。早期発見のために、次のことに注意してください。

▽説明のつかない傷やあざがある高齢者はいませんか？

▽急に外出が少なくなった高齢者はいませんか？

▽介護に疲れ、悩んでいる家族はいませんか？

▽保健・福祉の担当者や会うのを嫌う家族はいませんか？

▽医療・介護サービスを拒否している家族はいませんか？

▽間違った介護を正しいと信じ込んでいる家族はいませんか？

### 決して一人で悩まずに

たくさんの人に虐待について正しく理解してもらおうことにより、不適切な対応は減るはずですが、また、虐待に気づいたときや悩んでいるときは、一人で抱え込まず、ぜひ相談してください。

## ▽高齢者虐待の主な類別

### ①身体的虐待

- ・たたく、つねる、なぐる、けるなどの暴力
- ・動かないように縛る

### ②心理的虐待

- ・怒鳴ったり、ののしったりなどの言葉の暴力
- ・無視して口をきかない

### ③経済的虐待

- ・必要な金銭を渡さない、使わせない
- ・高齢者の年金や預貯金を勝手に使う

### ④性的虐待

- ・高齢者にわいせつな行為をする
- ・高齢者にわいせつな行為をさせる

### ⑤介護や世話の放棄、放任

- ・食事や入浴、排せつなど、必要な世話をしない
- ・必要な治療を受けさせない



## 県内で実際に相談があった 高齢者虐待の事例

### ケース1／80代女性（要介護・認知症）

Aさんが受診時に、手首にひもで縛った跡があったため、医療機関が地域包括支援センターへ連絡。息子夫婦に確認したところ「言うことを聞かなかったため自宅で縛っていた」と話した。

### ケース2／80代女性（要支援）

Aさんは息子夫婦と3人暮らしだが、現在息子は入院中。「Aさんと嫁はまったく会話がなく、食事も別々。おかずを作っている様子がなく、Aさんはご飯だけを食べているようだ。年金も嫁が管理しており、心配だから見に来てほしい」と近隣住民が地域包括支援センターに相談。

飯豊町役場

電話 0238-72-2111

FAX 72-3827

ホームページ www.town.iide.yamagata.jp

Eメール iide-info@town.iide.yamagata.jp



「あ～す」	☎72-3111	社会福祉協議会	☎72-3353	東部地区公民館	☎74-2447
町健康福祉課	☎86-2233	ひめさゆり荘	☎74-2011	西部地区公民館	☎75-2111
介護老人保健施設	☎86-2117	スポーツセンター	☎72-3086	中津川地区公民館	☎77-2020
国民健康保険診療所	☎72-2300	中部地区公民館	☎72-2126	飯豊駐在所	☎72-2245
附属中津川診療所	☎77-2330	白樺地区公民館	☎72-2242	中津川駐在所	☎77-2110

## フラダンス体験レッスン

- ◆日時／第2、第4日曜日  
19:00～20:30
- ◆場所／中部地区公民館
- ◆対象／性別・年齢は問いません。どなたでも参加できます
- ◆参加費／無料見学・体験可
- ◆申込方法／直接会場へお越しください
- ◆申込・問合せ先／ハイビスカス・フラクラブ飯豊 渡部☎72-2349  
または齋藤☎090-5828-9087

## 長井ヒップホップサークル メンバー大募集!

- ◆日時／毎週火曜日 19:00～21:00  
第2、第4火曜日はプロの講師が教えてくださいます
- ◆場所／生涯学習プラザ(長井市)
- ◆対象／性別・年齢は問いません。どなたでも参加できます
- ◆参加費／500円
- ◆持ち物／内履き、運動できる服装
- ◆その他／体験レッスン(第2、第4火曜日のみ)、見学も可能です
- ◆申込方法／直接会場へお越しください
- ◆問合せ先／長井ヒップホップダンスサークル横山☎090-2363-2829

## 第3次山形県総合発展計画 出張説明会について

県づくりの指針となる「第3次山形県総合発展計画」を本年3月に策定しました。より多くの皆様に知っていただくため、県職員が各種会合などにお伺いして計画の内容を説明する出張説明会を実施します。詳しくは県のホームページをご覧ください。担当までお問い合わせください。

- ◆申込・問合せ先／山形県政策企画課  
☎023-630-2895

## 初心者のためのやさしい 野菜作り教室

野菜作りを基本から学んでみませんか? 四季を通して様々な野菜の作り方、野菜の加工法などを学びます。

- ◆期間／5月下旬～11月下旬(おおむね月1回程度)
- ◆対象／町内在住で野菜作りにチャレンジしたい方
- ◆定員／10人程度(先着順)
- ◆場所／中地区(中西公民館隣)
- ◆植付作物／なす、枝豆(3種)は全員、ほか各自希望の作物
- ◆参加料／無料(ただし作物によっては資材費など別途かかります)
- ◆講師／山形県西置賜農業技術普及課職員ほか
- ◆申込方法／下記まで電話で申し込み
- ◆申込締切／5月20日(木)
- ◆申込・問合せ先／役場産業振興課農業振興室☎72-2111内線260、262

## 農業経営実践講座 受講生募集

- ◆開講式／6月2日(水) 13:30～
- ◆対象者／新規就農者、栽培管理・農業経営の向上を目指す方
- ◆開講講座  
①野菜作り講座 ②切り花作り講座  
③果樹栽培講座 ④乳牛・肉牛の飼養管理講座 ⑤パソコン経営管理講座 ⑥農産加工講座 ⑦新規就農者特別講座
- ◆受講料／無料(教材費、交通費などの実費負担あり)
- ◆申込締切／5月26日(水)
- ◆申込方法／下記まで電話で申し込み
- ◆申込・問合せ先  
西置賜農業技術普及課☎88-8216

## 自動車税の納税について

自動車税の納税期限は5月31日(月)です。お近くの金融機関や置賜総合支庁税務担当課(平日のみ)のほかコンビニエンスストアでも納めることができます。期限までお忘れなく納付ください。

- ◆問合せ先／山形県税政課  
☎023-630-2005

## 人権なんでも相談所 開設のお知らせ

全国一斉「人権なんでも相談所」を開設します。相談は無料で秘密は厳守します。お気軽にご相談ください。

- ◆日時／6月4日(金) 13:30～15:30
- ◆場所／町民総合センター「あ～す」
- ◆相談員／人権擁護委員・法務局職員
- ◆相談内容／夫婦・家族間のいざこざ、配偶者などからの暴力、老人・子どもの虐待、遺産相続、いじめ問題など、どんなことでも相談に応じます
- ◆町の人権擁護委員／伊藤清一(白川)、齋藤久子(松原)、手塚久美子(萩生)、安部宗右衛門(小白川)
- ◆問合せ先／法務局米沢支局  
☎0238-22-2148

## 新しい農業委員を紹介します



高橋正章さん

(添川・置賜農業共済組合推薦)

町の農業振興のために職務に務めてまいります。よろしくお願いいたします。

こせきのまど  
戸籍の窓

(4月届け出分)

ご結婚おめでとうございます

住所 氏名  
萩生 手塚 直亨さん  
千葉県 高橋 理恵さん

お誕生おめでとうございます

住所 氏名 ご両親  
萩生 鈴木 友彩ちゃん (直朋 記恵)  
萩生 遠藤 ひなたちゃん (大道 介子)  
手ノ子 尾形 颯哉くん (誠美 真美)  
手ノ子 渡部 爽来ちゃん (恭平 泉)

心からおくやみ申し上げます  
住所 氏名 年齢

小白川 十文字 五十嵐 常次さん 83  
白川 川内戸 鈴木 武さん 88  
黒沢 吉長 手塚 竹子さん 54  
添川 中洞 小松 よしさん 86  
萩生 萩生町 木村 ぎんさん 84  
添川 昭和 船山 和夫さん 83  
黒沢 二概 細 鈴木 はるのさん 84  
萩生 町西 後藤 辰榮さん 81  
椿 辻 松山 フミノさん 84  
椿 小原 志田 佳成さん 48  
中 南新田 長岡 庄藏さん 88  
黒沢 坪沼 横澤 繁次さん 86  
黒沢 坪沼 横澤 チヨさん 83  
添川 (淑) 鈴木 クニエさん 94  
小白川 十文字 横澤 けさのさん 96  
萩生 町上 鈴木 利夫さん 69  
萩生 中ノ舘 島 貫もりさん 90

※この欄に掲載を望まない場合は届出の際にお申し出てください。

人の動き

4月分 ( ) 内は対前月比			
世帯数	2,398 (-4)	転入	23
人口	男	3,999 (-6)	転出
	女	4,263 (-3)	出生
計	8,262 (-9)	死亡	17

町振興審議会の委員を募集します

あなたの意見を

まちづくりに生かすとき

町への思いや意見を、総合計画の策定、農業や観光などの産業振興、子育て支援や暮らしの施策などに届けてください。未来に続くまちづくりを議論する振興審議会の委員を募集します。

- ◆任期/平成22・23年度の2年間
- ◆会議の開催/年間3回程度
- ※平日の開催が主ですが、土曜・日曜日に開催する場合があります
- ◆応募資格/町民で社会人の方は誰でも応募できます。ただし、応募者の中から年齢や性別のバランスを考慮し選考させていただきます
- ◆その他/審議会に出席した場合は、報酬が支払われます
- ◆申込方法/電話、FAX、Eメールにて申し込みください。電話以外の場合は、住所・氏名・電話番号を必ず記載ください
- ◆申込締切/5月31日(月)
- ◆申込・問合せ先/役場総務企画課総合政策室 ☎72-2111内線226・227 FAX72-3827

E-mail : i-seisaku@town.iide.yamagata.jp

◆お詫びと訂正

4月8日号「ひと目でわかる!役場利用ガイド」の中に次の誤りがありました。  
▽6ページの中で、附属中津川診療所長(医師)「安達敦彦」は、「阿達敦彦」の誤りでした。  
▽8、9ページ中の新規採用町職員紹介で、最終学歴の卒業年の一部に誤りがありました。佐藤祐子主事補は「2003年」、安部早苗保育士は「2001年」、多田野唯保育士は「2010年」が正しいものでした。訂正しお詫び申し上げます。

(横山)

献血にご協力ください

- ◆日時/6月2日(水) 15:30~16:30
- ◆場所/役場庁舎前
- ◆その他/献血カードをお持ちの方は持参ください
- ◆問合せ先/町健康福祉課健康医療室 ☎86-2338

憲法週間行事

裁判所見学会を開催します

- ◆日時/5月27日(木) 13:10~16:30
- ◆場所/山形地方裁判所米沢支部
- ◆内容/刑事裁判傍聴、裁判手続説明、裁判員制度説明、庁舎内見学など
- ◆定員/30名程度(先着順)
- ◆申込方法/下記まで電話で申し込み
- ◆申込・問合せ先/山形地方裁判所米沢支部庶務課 ☎0238-22-2165

米沢国道維持管理出張所 道路の管理について

国土交通省米沢国道維持管理出張所では、1日おきにパトロールを実施し、安全管理に務めています。もし通行中に、落下物、道路施設の破損などを発見しましたら下記までご連絡ください。

- ◆管轄の国道
- ①国道13号「米沢市万世町大字刈安～南陽市元中山地内」
- ②国道13号南陽バイパス「高島町大字深沼～南陽市赤湯地内」
- ③国道113号「小国町大字玉川～南陽市赤湯地内」
- ④国道113号赤湯バイパス「南陽市竹原～高島町大字深沼地内」
- ◆連絡先/『道路緊急ダイヤル』(山形河川国道事務所内) ☎#9910・通話料無料

四月下旬の天候不順で、桜の開花が原稿の締め切りに間に合うのかやきもきました。五月に入り、町内の桜は一齐に開花。待ちわびた分、例年に増して美しく感じられました。▽残念だったのは、中津川地区にある「経塚の桜」と呼ばれる古典桜の開花が間に合わなかったこと。山のふもとに屹立する姿は、畏敬の念さえ抱かせます。また、そこには看板が掲げられていて、千二百年以上の言い伝えが記されています。隣の市と町のあの有名な桜に勝るとも劣らない古典桜。一見の価値は大いにあります。





## 中村原

中地区

さゆり保育園の園児たちを見守るように、公園を取り囲む桜の木。開花に合わせて、中区協議会（長岡茂左衛門会長）では南新田部落の皆さんと協力し、ちょうちん約100個を飾り付けている。夕闇にちょうちんの赤い光が桜の花を浮かび上がらせる。3年前から始めたこの取り組みは、すっかり春の風物詩に。中区協議会では、中村原のほか中公民館、ホトケ山農村公園にもちょうちんを飾り付けている。



## 眺山

添川地区

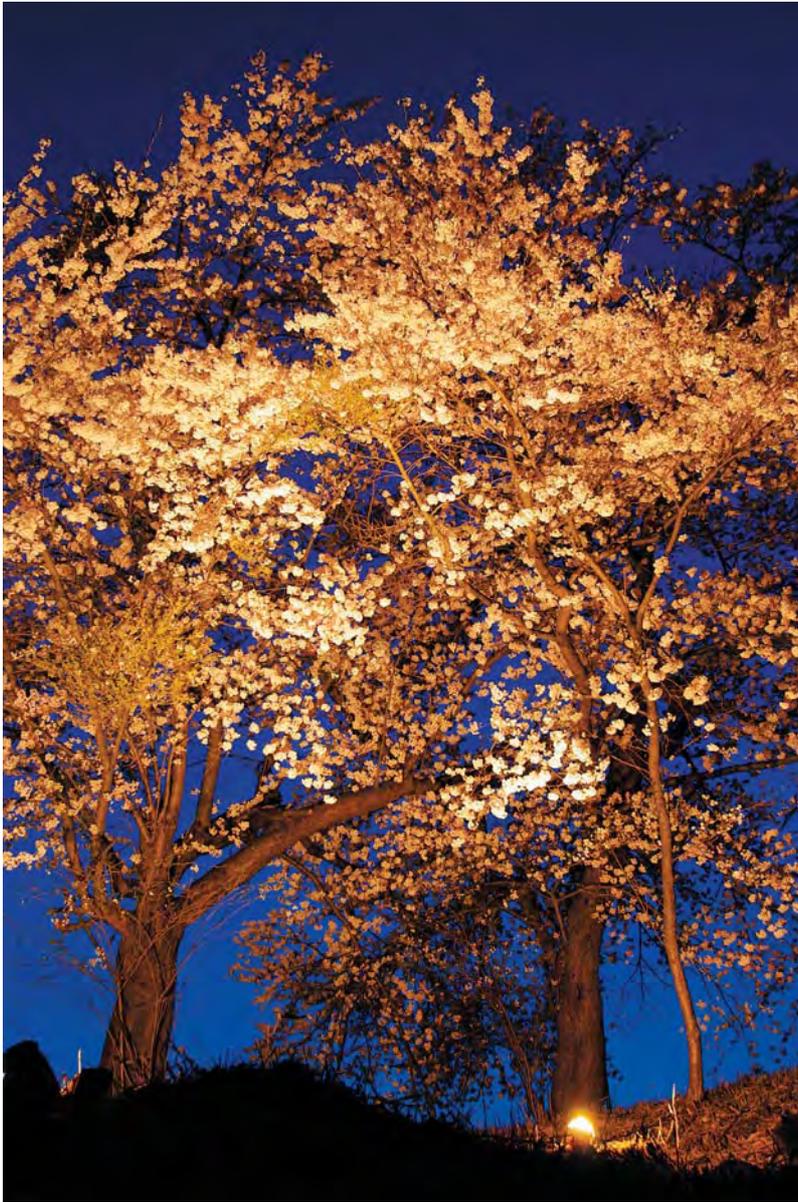
眺山の坂道を彩る満開の桜。頂上には山を横断する細道があり、牧場と飯豊の町並みを見下ろすことができる。地元の方で組織する眺山観光協会（岩瀬慶一会長）は、平成20年にこの沿道に桜の苗木約30本を新たに植えた。木々は愛らしい花を咲かせ、今後の成長を期待させる。さらに県道椿川西線に抜けると、そこには上代部落の皆さんが植えて管理している桜並木が待っていた。

まるで五月の大型連休に合わせるようにして、飯豊町の桜は一齐に咲き始めました。町内には桜を生かし、地域を元気にしようとする取り組み人たちがいらっしやいます。そんな「桜の名所」を紹介します。

いいでに咲く

桜

photogravure of cherry blossoms  
in Iide Town



## 旧飯豊中 グラウンド

椿地区

旧飯豊中グラウンドの桜の木は巨木ぞろい。県道から見上げれば、ピンクの花が空いっぱい広がって見える。この素晴らしい桜を多くの人に見てもらいたいと、今年ライトアップを試みたのが椿の井上義夫さんと伊藤新榮さんだ。自分たちの持つ器材を持ち寄って、夜6時半から8時までの間、3器のライトで桜を照らした。「2人でお茶のみ話中にやってみようということになり、その日の夕方うちに設置しました」と井上さん。夕闇に浮かび上がった桜の巨木は見応え十分。多くのドライバーが車を止め、しばし夜桜の鑑賞にふけていた。

それぞれの場所には、  
地域の人たちに愛されている桜がある…

## 松岡文殊尊

松原地区

5月の大型連休中、白川公園内にたくさんのこいのぼりが連なり、優雅に空を泳ぐ。こいのぼりの設置は、松原部落むらづくり委員会（本間秀實部落長）の皆さんが地域活性化の活動として10年以上続けている取り組み。そして今年、隣接する松岡文殊尊の境内の桜が連休中に開花を迎えた。桜とこいのぼりの組み合わせは、めざみの里観光物産館に立ち寄った多くのお客様の目にもとまり、家族連れなどが公園や境内に足を運んで日本の原風景に思いを馳せていた。



【入選作品】



# いざ、峠へ！

(撮影場所／手ノ子地内)

写真は、平成20年度に開催されました「未来につなぐいいでフォトコンテスト」で入賞された作品です。

## 撮影者

渡辺アツシさん (福島県福島市)

この3月のダイヤ改正により、旧型車両が無くなるとのことで、2年間にわたって米坂線を撮影してきました。今回、その中の作品を選んでいただき、私自身も記念に残る受賞となりました。雪深い早朝に、福島から出かけた苦勞が報われました。ありがとうございました。

## 写真家 佐藤秀明先生の講評

題名の「いざ、峠へ！」というのは勇ましさを感じるように思います。薄暗い雪原を走る列車の姿からはむしろ哀愁が漂ってきます。この列車が遠ざかるものであればなおさらです。撮影したときの興奮がそのまま題名になってしまったのではないのでしょうか。

